

高崎市PTA連合会公報紙 たがもたがも倶楽部

第6号

会長あいさつ

竹内 一普



飯野教育長とPTAが一緒になって「いじめ問題」への取り組みを始めた本年度は、「学校におけるいじめ防止プログラム」をすべてのPTA会長さんに配布し、各ブロックで取り組めることについて議論いただきました。また、大津での事件を聞き、9月には「青少年の問題行動について」単P会長臨時研修会を開催し、思春期の子どもの心理などについて、みんなで改めて勉強いたしました。

児童・生徒、保護者アンケート結果によると「学校はいじめ発生防止に努め、適切に対応している」と答えた児童・生徒は九割を超え、そう思う保護者も90%近くになり、これまでのポイント数を上げています。いじめ防止に努める学校の姿勢が現場において評価されているのです。子どもたちが「わたしは学校や地域、家庭に守られている。一人ぼっちではないんだ。」と感じていることが大切です。大事なものを守り広げていく

ことがPTAの役割であると思えます。そのために今、何をすべきか？保護者にとつて、PTA活動はそれを実行し確認できる最良の場なのです。

また、継続している携帯インターネット問題への取り組みに関して、事件未然防止策のひとつである「ネット見守り隊」は今後の活動準備に向けて、市P連本部役員での勉強会を継続中です。

12月には、第二ブロックより、「いじめのない学校づくりを目指して」という題名で飯野教育長のご講演、二部では対談形式でご意見をいただきました。マイティーチャーターの薦め、保護者間の交流などの重要性について学びました。市P連にとつて、第二ブロック主導で開催したことに大きな意義がありました。開催ブロック長の箕郷中、岡田会長をはじめ、第二ブロックPTA会長の皆さまに改めて感謝申し上げます。

教育に関する様々な課題は山積しています。安全・防犯、教育環境など。特にいじめ問題は単年度では完結できるものではありません。市P連はこれらの問題を事業の軸として、今後も積極的に研究し活動してまいります。

第51回研究大会

十二月八日(土)に高崎市文化会館大ホールにて、第五十一回高崎市PTA連合会研究大会が開催されました。

当日はとても寒い天候でしたが、市内各地から五百名余りのPTA会員が集いました。式典に続き、仮面ライダーで有名な藤岡弘、氏による講演では、参加した皆さんが「家庭での子育てを頑張ろう！」という元気をいただきました。

◆式典

実践事例発表
【佐野中学校PTA】
(平成二十四年度日本PTA会長表彰)

「子育て支援」と「家庭・地域との連携」に取り組むPTA活動、その質を上げ一流にしていく「凡事徹底 凡事一流」について

【矢野中学校PTA】
(平成二十四年度緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰)

一年を通して三五〇鉢のプランターのペチュニアが咲き誇る矢野中。「ペチュニア栽培を通して心豊かな生徒の育成」について講演会

◆講演会
「家族愛、大人が変われば子どもも変わる」

講師 俳優・武道家 藤岡弘氏

講演に先立って、氏が行っている紛争地域の子どもたちとふれあう姿(国際ボランティア)の映像や、氏の原点となる抜刀道の演武の様子が放映され、その世界に引き込まれました。

いよいよ講師が登場、氏はしばらく何も語らず、マイクを通じて息づかいが大きく深く場内に響き渡りました。会場のざわめきが静寂に変わった時、「自らが体験したことしか語れない」と前置きをした上で、今、世の中で起きている事や世界観、自らの思いについてバリトンボイスが静かに語り始めました。子どもへの頃に親から躰けられた武士道の精神を根源とし、剣による力での統治ではなく「戦わずして相手を制する」こと、相手を認めた上で道を説くことだと教えています。

コソボ(紛争)の子どもたちは、生命の危険にさらされた経験から、一言では語れない心の闇があり、生き抜くために力を得ようとして銃を持ち、タバコをくわえ、大人たちの真似をする。他人を疑い、無邪気な表情は消え失せ、瞳のその先に夢など持ち合わせていない。

我々大人の自己中心的な放漫なエゴによる争いに子供たちを巻き込んでほらないのです。

「愛された分だけ人を愛することが出来る」、人と人とのふれあいや係わりの原点が「家族愛」です。仮面ライダーの「変身」、それは氏が心を込めて演じた「愛への変身」だったのです。

この世に奇跡を持って生まれし子どもたちは、一番身近な大人である親を見て、真似をして育つものだから、親は、子どもに生きることの大切さや生き方を、身を以って教えることが大切です。子どもから、「お父さん(お母さん)みたいな父(母)親になりたい」と思われるようになること。未来を築く子どもたちに親がそのお手本となり、大きな愛情を持って接することの大切さを改めて感じ、学ぶことが出来たすばらしい講演会でした。



いじめによる犠牲者を出さないために

高崎市教育委員会

教育長 飯野 眞幸

◆はじめに

高崎市立の幼稚園、小学校、中学校、養護学校及び高等学校全九十三校園で、昨年四月から私の作成した「学校におけるいじめ防止プログラム」を参考にしたいじめ防止指導が始まりました。まだ、一年が経過していませんので正式な検証はできませんが、いじめ件数は、昨年度に比べて大きく減少しています。各学校及び、地区での研修会を持っていただくなど積極的に取り組んでいただいているPTAの皆様が心から御礼を申しあげます。

◆なぜいじめ問題に

のめり込むようになったのか
今から四十年近く前、高校の卒業式の際に、ある生徒の母さんが言われた「中学校時代年明け一度もいじめられませんでした」という言葉が未だに忘れられません。彼は入学時から清潔であることに強いこだわりがあり、授業が終わる度に廊下に出て手を洗うという行動がありました。お昼を食べるのも一人で、食べ終わるのも一番遅い生徒でした。
高校に給食はありませんでしたが、私は担任として昼食は教室で生徒と一緒に食べる主義でしたので、彼とはよく話しなが

学校における いじめ防止プログラム

～いじめによる犠牲者を出さないために～

(ダイジェスト版)



平成24年3月

高崎市教育委員会
教育長 飯野 眞 幸

ら昼食を取りました。そのうち彼の食べるスピードも速くなり、仲間と一緒に話しながら弁当を食べることもできるようになってきました。

当時私の勤めていた学校には生徒は早めに登校し、始業前校庭をランニングするという習慣がありました。私のクラスは全員で揃って走ろうということになり、運動部の生徒達が声を出し、ランニングの苦手な仲間のことでも考えながら校庭を二、三周しました。もちろん私も一緒に走りましたが、クラスの連帯を作る上でとても効果がありました。彼も休まず参加していました。

その生徒たちも既に五十代です。同窓会などで会う教え子たちが異口同音に「いいクラスだった」と言ってくれます。担任冥利に尽きます。

いじめの問題にのめり込んだ第二の理由は、県の教育委員会時代、仕事の関わりで読んだ悲惨ないじめ事件に関する判決書に大きな衝撃を受けたことです。

一昨年七月、滋賀県大津市の中学三年生の自殺をめぐる報道を契機に、いじめが大きな社会問題となりましたが、昭和六十年、福島県いわき市で暴力や金銭強要など継続のないじめを苦に中学校三年生が自殺した事件

や、翌年、東京都中野区で学級担任がいじめに荷担したことで知られる中学校二年生による自殺事件等もありました。特に、福島県の事件は、裁判所がいじめと自殺の因果関係を認める画期的な判断を下しました。これらの判決書を読むなかで、命を絶った子どもが不憫に思えてなりませんでした。大人たちがしっかり役割を果たしていれば将来のある子どもたちを救えたのではないかと強く思いました。

以来いじめに関わる裁判の判決書を取り寄せ、読みこなしてきました。読めば読むほど、いじめによる子どもたちの自殺は防げるし、防がねばならないと思ふようになったのです。

◆日本のいじめの対応に

欠けていたこと

現在、日本の学校でいじめに関する対応マニュアルを持つていない学校はありません。ただ、その対応マニュアルは、いじめの早期発見と事後対応が中心です。いじめを起させないという未然防止にはあまりウエイトが置かれていません。また、その対応マニュアルの殆どは都道府県や市町村教育委員会が作ったものです。その意味で当事者意識が乏しいのです。私はそこに最大の課題点を感じ、いじめ

の未然防止に力点を置いたプログラム作成の必要性を感じていました。

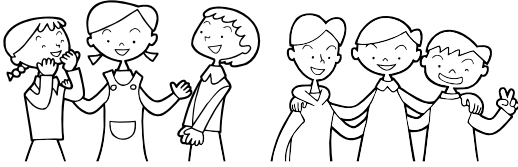
年度当初、校長にいじめ防止規定を作り、子どもたちや保護者に説明することを義務づけるなど、いじめの未然防止に力を入れていたイギリスの学校への調査なども行い、昨年三月に発表したのが「学校におけるいじめ防止プログラム」です。

校長が四月に、子どもたちへ、「いじめのない学校にしよう。いじめは絶対許さない。もしいじめられたらとことんいじめられた側に立って守り抜く。」ということを宣言するとともに、保護者の皆さんにもそのことを報告します。そしてそれと並行して学校自作のいじめ防止ポスターを作成・掲示するということから始まった本市のいじめ対策は全国的にも珍しく、マスコミなどでも大きく取り上げられました。

◆おわりに

各学校・園で一所懸命取り組んでくれたお陰で、前述したように昨年に比べ件数は減少していますが、残念ながらもまだ解決していない問題もあります。ただ、学校の姿勢は非常にしっかりしています。「いじめはいじめている側が悪い」このようなス

タンスに立って今後も対応していきま。保護者の皆様もぜひ同様の考えに立ってください。両者がそのようなスタンスに立つことは、いじめに関わる被害、加害を問わず犠牲者を出さないことに繋がると確信しています。いじめもなく、子どもたちが楽しく有意義な日々が送れる学校では、教員が落ち着いて子どもたちの学力を伸ばす指導にも力がいれられます。いじめにきちんと立ち向かうことが結局は子どもたちの幸せに繋がります。各学校・園と教育委員会はこれからもいじめのない学校作りのため努力していきます。どうかPTAの皆様におかれましては、これまでにも増してご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。



『今回は、「交通安全、防災、防犯対策」および「今年度やって良かったPTA活動」について、記事を寄せていただきました。』

みんなで守る 子どもの安全 地域の取り組み

【滝川小学校】



群馬県交通安全施設業共同組合による「子どもを守ろうプロジェクト」として、グリーンベルトや交通標識、防犯ライトなど安全確保のための施設を滝川小学校校区内に設置していただきました。式典で6年生が通用門に取り付けた防犯プレートは、児童の安全意識を高めています。区長会をはじめとする地域安全自主パトロールの皆さん、交通指導員さん等、多くの方のご協力をいただいています。

【岩鼻小学校】



子どもの下校時に、数名の保護者で防犯パトロールを行っています。また、新たに「ワンワンパトロール隊」の隊員を募集することになりました。子どもたちの登下校時に、お散歩をしながら、安全パトロールを行っていたり、安全パトロールをしながら、家庭、学校、そして地域の方々と協力して、交通安全、防犯対策に取り組んでいきます。

【東部小学校】

- ・児童引き渡し訓練を含め年2回の安全下校・校区パトロールの実施。
- ・学校区危険箇所マップ、子どもを守る家・守る店マップの作成。

- ・下校時刻に合わせた防犯パトロールの実施。
- ・地域の方と連携で5月と10月

と2月に週1回の青パトによるパトロールを実施。

- ・その他、校区内の不審者情報があった時や強盗、犯罪が起こった時など、児童の安全確保のため学校、PTA、地域で連携を密に取るよう心がけている。

【金古小学校】

毎年、5月に地域のスーパー、ショッピングセンター、図書館など子供たちが利用する場所に挨拶もかねて情報交換に行っています。防犯に関しては、地域と連携して行っています。また、夏の地区の盆踊り大会、お祭りなどにおいても時間を決めてパトロールをし、子供たちが楽しく過ごせるように安全確保を図っています。

【城東小学校】

週3回、定期的にPTA全会員による下校時防犯パトロールを実施し、アンケートで気づいたことや、危険箇所を報告していただいています。特に注意しなければならぬ件については、PTAにて調査・改善を行っています。

【倉淵小学校】

統合により校区が倉淵町全域になったことで、路線バスやタ

クシーを使って登校する児童が約8割となり、また、自家用車で送迎される児童もいるため、交通整理やバス降車後の安全確保が必要で。また、徒歩で国道406号線を横断する児童の安全確保も欠かせません。そのため、交通指導員さんや校長先生、全PTA会員による正門前の登校時交通安全指導を、毎日実施しています。

【南八幡小学校】

校外委員では、年4回の集団下校を行うことにより、全児童がそれぞれの通学路をあらためて確認できるよう協力しています。また今年度は「子ども安全・安心ガイドマップ」を書き換えました。毎年PTA会員の皆さんに協力いただいている危険箇所アンケートを基に、平成21年度まで遡って見直し、完成しました。親子で通学路を確保して安全に登下校してもらえよう役立ててもらっています。

【大類小学校】

5月に通学路の安全点検ということで、親が子どもと一緒に登校し、朝の時間帯における通学路の危険箇所を調査しました。各自の調査結果については学校に報告を行い、改善を図れるように努めています。

実際に子どもと一緒に登校して見たことで、より正確な危険度を感じることができました。

【長野小学校】

校区の交通安全パトロールは、PTA役員、各地区の地区委員、区長会をはじめとする地域の方々と協力して、下校時刻に合わせた昼と夜のパトロールを実施しています。夜のパトロールは、男性保護者の方にも協力してもらい、非行防止、不審者への防犯対策をしています。

また交通安全委員会を中心に通学路の危険箇所の確認をし、各家庭に校区内安全マップを配布するなど、通学路の安全確認を徹底しています。

【金古南小学校】

朝の通学時間帯に、交通安全協会群馬支部のご指導の下、青少年問題協議会・警察の協力を得て、通学路にて車の運転手に、チラシ配りをPTAで行いました。多くの運転手さんに道路であると共に通学路であることを再認識していただき、安全運転を心がけ、子どもたちが安全、安心して通学できるように地域の皆様のご協力の下、交通安全指導を行っています。

【寺尾中学校】

寺尾中学校区では、子どもたちを非行から守り健全に育成することを目的として、寺尾中学校健育推、寺尾地区青少協、城山区青少協の3団体合同で夏季休業中と冬季休業中に夜間パトロールを実施して地域の連携を図っております。

【久留馬小学校】

地域の区長さん方や地域の安全にかかわる各種団体の皆様の協力をいただきながら、学校周辺の道路にグリーンベルトができました。児童の安全な登下校に役立っています。また、緊急時を想定したお迎え下校も実施して不審者等の事件が発生したときの対策も行っています。

【群馬南中学校】

生徒の安全な登下校の確保のためにPTAによる交通安全・防犯街頭指導を実施しています。実施時刻は登下校に合わせて、交通量の多い交差点や、「安全マップ」で特に注意が必要な箇所を重点的に指導しています。

また、地域のお祭りには重点指導箇所を設定し、組織的・計画的にパトロールを実施しています。人口が増加している地域だけに、「安全マップ」を有効に

活用し生徒の安全に取り組んでいます。

【下里見小学校】

長寿会、区長、PTAにてボランティアを募り、朝交通指導ボランティアを危険な3か所にて実施しています。実施時刻は子どもたちの登校時間に合わせ行っております。また、下校時刻に合わせて交通安全パトロールを車2台で2ルートを巡回しています。その他には通学路危険箇所リストを作成し危険箇所の改善に努めています。

【多胡小学校】



毎日、下校時刻に合わせてPTAパトロール・交通安全指導を実施しています。1年間で延べ約200人です。校区は農山村部のため、自動車での広範囲のパトロールになります。不審者その他、シカやイノシシの出没

も情報としてあります。吉井インターやゴルフ場が校区にあるため、県外からの自動車も多く、交通安全には特に力を入れています。

いいね!!
みんなが主役の
PTA活動

【中居小学校】



「手を止めて きちんと聞く」子どもの話をスローガンに活動を行っています。一昨年度まで行っていたバザーを「中居小ふれあいまつり」と改め、子どもと親・学校・地域がふれあい、親睦を図るお祭りとして毎年秋に行っています。焼きそばやお餅の販売に長い列ができ、毎年大変盛り上がりがあります。

【中川小学校】

「困難を共に乗り越え一体感が生まれた」

本校の運動会は9月23日(日)に予定されましたが、以前より「土日連休の日曜日開催はいいかなものか」という声がありました。その対応に苦慮していましたが、そんな中、運動会当日の日曜は朝から予報通りの雨、早朝からPTA本部役員に電話やメール連絡をしながら、次の日の月曜日に備えました。月曜開催にもかかわらず、ほとんどの役員が雨を見越して会社の休みを取り、運動会に協力してもらいました。

今年度は新役員が4分の3を占めており、やや一体感に欠けていましたが、まさに「雨降って地固まる」となりました。

【里見小学校】

今までのPTA活動の方針を継続し、今年度も子どもたちがよりよい学校生活を送れるようがんばっています。5月に行われたPTAスポーツではたくさん保護者の方や先生方に参加していただき、楽しく懇親を深めることができました。学校保護者、地域の皆様のおかげで感じられるような活動になっていると思います。

【城山小学校】

3校合同PTAセミナー
10月20日(土)に、東京福祉
大学教授 手島氏にお越し頂き、
「やる気を出させる子どもとの
接し方」というテーマで講義を
して頂きました。

第5ブロックの3校から60
名程が参加し、子どもの成長過
程に合わせた接し方などを学び
ました。また、心理テストも行
い自分自身を見つめ直すよい機
会だったと思います。

【新町第二小学校】

今年度の活動の特徴としては、
新町地区三校合同でのPTAセ
ミナーを6月23日に講師の長田
百合子さんを招き、「思春期の子
どものかかわり方」と題し行
いました。とても大好評であり、
特に印象に残っているのは、実
際に不登校の経験のある生徒や
保護者を同行させ、なぜ不登校
になったのか、どのようにして
立ち直ったのか、という生の声
が聞けて、大変良かったと思
いました。

【北小学校】

今年も6月に1泊2日で七夕
山キャンプを開催し、児童とそ
の保護者150名が参加しまし
た。

今年度は食育の観点から「食を
見つめ直す」をテーマに郷土料
理研究家の堀澤氏を迎え料理教
室を行いました。

本格的なキャンプの体験を通
して、友人や親子の絆、さら
には親同士をつなぐよい機会とな
りました。



【吉井中央中学校】

今年度は創立30周年にあたる
ため、創立記念式典および記念
講演会を開催します。これまで
の本校を作り上げていただいた
方々に感謝するとともに、地域
の中にある学校がさらに活気あ
る学校となるためにも、PTA
会員はもとより、地域の団体や
地域の方々にもお知らせをして
盛大に行います。

【上郊小学校】

昨年度からはじめた「あいさ
つ運動」を今年度も実施してい

ます。PTA本部でも期間を決
めて校門の前に立ち、登校して
くる子どもたちとあいさつを交
わします。全員が元気よく積極
的にあいさつできるようと願
い活動しています。

地域の皆さんからも、「子ども
たちがよくあいさつできるよ」
と、うれしい声も聞かれます。
今後も、地域の皆さん、先生
方、保護者と一体となって取り
組んでいきたいと思ひます。



【南八幡中学校】

PTA奉仕活動として子供た
ちの通学路の草むしりを行いま
した。歩道が草で覆われ歩く所
もない様な状態だった為、きれ
いになってやっと安心して通学
できるようになりました。5月
とはいえ、みんな汗をかきな
がら取組んだ結果、一体感が生
まれその後の行事も和気あいな
いと進められています。

【入野中学校】

本年度は「進め！子どもは主
人公」をスローガンに、活動を
進めてきました。前期はPTA
セミナーを2回開催し、また親
睦球技大会も盛況でした。夏季
休業中には、地区のパトロール
や親子緑化奉仕作業が実施され、
健全育成や学校の環境整備に貢
献しています。

【塚沢中学校】



「PTAと夢を語る会」

塚沢中学校は伝統的にクラブ
活動がとて強く、今年度は7つ
の団体が関東大会又は全国大会
に出場しました。その時に活躍
した部活の代表者が集まり、P
TA本部役員と給食を食べなが
ら、懇親会を実施しました。
大人は中学生の時の青春時代
にどんな夢を持っていたのかを
話しました。また、生徒は今大

会での感動と将来の夢を語り、
未来に向けての挑戦がスタート
しました。

【箕輪小学校】



今年度のPTAセミナーは、
熱気球搭乗体験とミニ熱気球づ
くりをしました。熱の力で外気
温と内気温に差を生じさせ、気球
が上昇することを学びました。搭
乗体験後、「楽しかった」「遠く
まで見渡せて気持ちよかった」
と笑顔いっぱいでした。ミニ熱
気球づくりでも、自分で作成し
た気球が天井まで上がっていく
様子に目を輝かせていました。
体験して学習することの大切さ
を改めて感じさせるセミナーと
なりました。

【高南中学校】

毎年11月3日の文化の日に「こ
うなん会」と称して軽スポーツ
を行っています。種目はソフト

バレー・ソフトボール・卓球を行い、部活の生徒たちと対戦遊んでもらい)します。運動以外にも保護者による手芸でブリザーブドフラワーでコサージュやアレンジメントも行っています。参加人数はまだまだ少ないですが、大変盛り上がるので今後多くの参加を期待しています。

【佐野小学校】



毎年行っている恒例行事ではありますが、学校の壁や遊具などを親子で綺麗に塗る「ペンキ塗り」と、空気の澄んだ冬の空を観測する「星を観る会」が、どちらも我が校の誇る人気行事です。ペンキ塗りは前日の準備が大変ですが、100人程の参加者が古びた壁を真っ白にして行くのは気持ちの良いものです。また星の観察はスライドの説明も加え、大きく見える月や惑星に大人も子どもも歓声が上がります。

ます。

【佐野中学校】



親子参加型行事として、年2回(6月・10月)「親子参加奉仕活動」を実施しています。活動の目的は、通学路の清掃及び危険箇所の確認、校庭の清掃・整備作業となります。当日は、いずれも約300名(先生・生徒・保護者)が、主な通学路4コースと校庭に分かれて汗を流しました。短時間ですが協働作業を通し連帯感が生まれた活動となりました。

【下里見小学校】

今年「親子の絆をふかめよう」を努力目標に活動しています。おもにPTAセミナーを2回、広報「梨の里」を3回、学校保健委員会を3回、廃品回収やその他行事などを通じ、連帯感を強めつつ楽しみながら活動

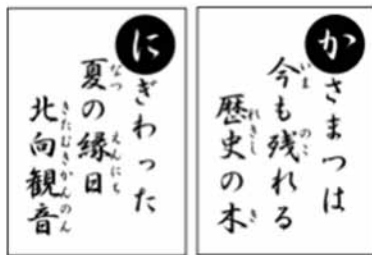
しています。

【多胡小学校】

本校の保護者の方は、PTA活動に積極的に参加してくださる方がとても多く、ほぼ100%に近い参加率で、大変感謝しております。

6月のPTA綱引き大会も、たいへん盛り上がりました。その後の懇親会も大盛況で、保護者間の絆も深まったと思います。12月には、PTA餅つき大会を予定しています。こちらも、盛り上がると思います。

【京ヶ島小学校】



来年度、京ヶ島小学校は創立140周年を迎えるため、今年度その記念事業の一環として「京小ふるさとかるた」を作製しています。児童、親、地域の人が連携し、学校や地域の文化・伝統・慣習に目を向け、それら

を「かるた」にまとめる活動を進めています。この活動により、親子の絆、地域の人達との絆、郷土愛等が育まれています。今年度中に「京小ふるさとかるた」は完成する予定です。

【吉井小学校】

例年、5月下旬に「PTA親善球技大会」を開催しています。内容は、トーナメント方式によるサッカーベースボールです。各学年からチームが参加し、今年も熱戦が繰り広げられました。野球コート4面を同時に使用するので、会場は吉井運動公園を借りて行います。土曜日の半日、気持ちのよい汗を流しながら、会員のつながりを深めています。

ブロックでの話題

【第5ブロック】

「育成会とPTAの関わり」
現在、育成会の加入率が50%を割る小学校もあり、半数以上の児童が上毛かるたを知らない事態となっています。また、町内会の児童部門は、育成会が引き受けているため、育成会に入っていない家庭は、町内行事に参

加しづらいなどの問題も発生し、地域の伝統文化継承にも支障をきたす事態が発生しています。近年、学校と地域の関係強化が求められるなか、PTA及び育成会並びに地域との関係を見直さなければいけない時期に来ているのではないかと考えています。

● 広報紙第六号 編集グループ ●

- ・グループ長 吉田 恵一 (八幡中)
- ・副グループ長 高田 知之 (南小)
- ・書記 大衛 晃 (豊岡小) 金安 哲也 (塚沢小)
- ・編集員 志村 雅之 (新町第一小) 五十嵐昭一 (矢中中) 清水 秀美 (新町中) 吉田 智也 (乗附小) 堀 智子 (豊岡中)

